

北三陸鉄道36形

(36-100形・36-200形・36-2100形)

共通組み立て説明書

△ 注意

お買い上げのお客様へ 必ずお読みください。

- 本商品の対象年齢は15才以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息の危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。

〈組み立てる時の注意〉

- 取り付け部を無理な方向に曲げたり引っ張ったりしないでください。
- 部品はプラスチック用ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった部分がありますので、気をつけて組み立ててください。
- ステッカーは、必要な部分を切り抜いて貼ってください。
- 部品の加工の際の刃物、工具などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- Nゲージ鉄道模型のパーツなどのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。

(お買い上げのお客様へ) 不都合な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

〈電話受付先〉 パンダイお客様相談センター
〒277-8511 柏市豊四季241-22 ナビダイヤル 0570-041-101

●受付時間 10時～17時(祝日、夏季・冬季休業日を除く)
PHS、IP電話等をご利用の方は04-7146-0371におかけください。

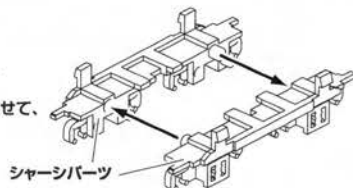
〈商品・修理品送付先〉 パンダイ 栃木修理・配送センター

〒321-0298 栃木県下都賀郡壬生町おもちゃのまち5-4-67
●営業時間 10時～17時(土、日、祝日、夏季・冬季休業日を除く) 電話番号はお客様相談センター共通

シャーシの組立て

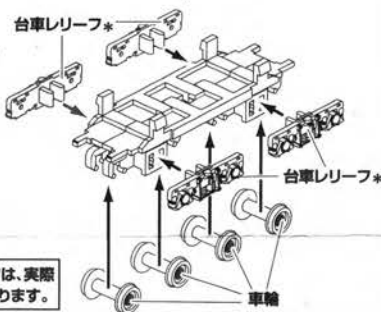
1 〈シャーシの組立〉

※左右のシャーシパーツを合わせて、シャーシを組み立てます。



2 〈台車レリーフと車輪の組み立て〉

※車輪と台車レリーフを取り付けます。



※説明イラストの台車レリーフは、実際の商品とは異なる場合があります。

台車レリーフの向きに注意。



カプラーの取付け方



Nゲージ化用パーツの取り付け方法

※トレインショーティは、動力ユニット(別売)を装着することで、Nゲージの線路上を走行させることができます。

①機関車への動力ユニットの取り付け

- 「トレインショーティ専用・動力ユニット①」-機関車専用」を使用します。
通常色(黒)と、グレーがあります。
- ※床板前後の穴々と、左右2箇所の爪で、車体と固定します。

※床板前後の穴々と、左右2箇所の爪で、車体と固定します。

- ※床板(シャーシ)部分を外して、動力ユニットに交換・装着してください。
- ※スノープロウは着脱可能です。(カプラーポケットの溝に、爪をしっかりと掛けてください。)
- ※EF200、EF210、DD53などでは、車体長が長いためカプラーの首振り量が充分にできません。重連運転や、極小カーブ、Sカーブ上では、連結が不安定な場合がありますのでご注意ください。

②電車・気動車及び路面電車への動力ユニットの取り付け

- 「トレインショーティ専用・動力ユニット②」-電車・気動車専用」もしくは「同 動力ユニット②」-路面電車専用」を使用します。
- ※左右4箇所の爪で、車体と固定します。
- ※ゆるい場合には、両面テープなどで固定してください。

※左右4箇所の爪で、車体と固定します。
※ゆるい場合には、両面テープなどで固定してください。

- ※イラストは「動力ユニット②」-電車・気動車専用」です。「動力ユニット②」-路面電車専用」には前後のカプラーはありません。
- ※床板(シャーシ)部分を外して、動力ユニットに交換・装着してください。
- ※台車側面に、台車レリーフを取り付けてください。
- (追加ウェイトは、走行状況に応じて使用してください。車内の空きスペースに、両面テープなどで固定します。)

③トレーラー(動力の無い車両)への台車の取り付け

- 「トレインショーティ専用・走行台車③」を使用します。
- ※付属の床板パーツを使用して、走行台車をセンターピン穴に装着してください。取り付けがゆるい場合には、走行台車の取り付けピンを広げて調整してください。
- ※台車側面に、台車レリーフを取り付けてください。
- ※旧タイプ床板では、台車の回転止めピンがあります。また、初代床板ではカプラー台座と車輪止め用ピンがありますので、走行台車と当たる部分は切り取って使用してください。
- ※台車に取り付けた「台車レリーフ」が走行中に落下しないように、取り付けがゆるい場合には接着剤などを使用して固定してください。
- ※スカートのある先頭車に、動力ユニットや走行台車を取り付ける場合は、スカートを取り外すか、または台車のカプラー部分を切り取ってから装着してください。
- ※新幹線など車体裾にカバーのある車両では、台車レリーフを取り付けできません。

- ※SGフレームでは、Nゲージ化する場合はブロックパーツのうちカプラー取り付けの「ピンなし」を使用します。(または、ピンを切り取ってください。)
- ※先頭車でスカートとダミーカプラーを付ける場合は、ブロックパーツは「ピンあり」を使用して、走行台車のカプラー部分を切り取ってください。



※各種の交換パーツについては、鉄道模型店、ホビーショップなどでお買い求めください。

- Nゲージ用の線路、コントローラーなどは、別途ご用意ください。
- ※線路、コントローラーは、各社のNゲージ規格の製品が共通に使用できます。
- ※Nゲージにおける使用方法は、各社Nゲージの取り扱い説明書をご覧ください。
- 走行条件によって、牽引できる車両の数は変わります。
- ※動力ユニット1台で、通常は4両程度を牽引(自車含む)することができます。(勾配区間や急カーブのある線形では、牽引できる両数が制限されます。)

■KATO製の動力ユニットを使用することもできます。

- ①機関車用・動力ユニット(スカートは取り外してください) ※EF40s、DF50、DD53など、裾の低い車両に装着できません。
- 品番11-103 ポケットライン用動力ユニット

- ※11-103は、購入時にはカプラーポケットの内側にストッパー(プラ小片)が入っていますので、必ずストッパーを取り外してから装着してください。

②電車・気動車用・動力ユニット(台車レリーフは取り付けできません。)

- 品番11-105 通勤電車①: コイルパネ台車タイプ 通勤電車①コイルパネ台車タイプ DT33タイプ 103系など
- 品番11-106 急行電車①: 空気パネ台車タイプ 急行電車①空気パネ台車タイプ DT32タイプ 165系など
- 品番11-107 通勤電車②: ボルスタレス台車タイプ 通勤電車②ボルスタレス台車タイプ DT61タイプ 485系など

品番11-104 チビ客車用動力ユニット

- ※「チビ客車用動力ユニット」は、手すりを切り取って装着します。(車両によっては、床板の一部を切り取る加工が必要な場合があります。)
- 通勤電車②ボルスタレス台車タイプ DT61タイプ 485系など
- 通勤電車③ボルスタレス台車タイプ DT21タイプ 231系など

③トレーラー用・台車(台車レリーフは取り付けできません。)

- 品番11-099 通勤電車①: コイルパネ台車タイプ このほか、割り取り取り付け方式の、各社台車を取り付けることができます。
- 品番11-098 急行電車①: 空気パネ台車タイプ
- 品番11-097 通勤電車②: ボルスタレス台車タイプ

■パンタグラフの交換

- ※お好みのNゲージ用パンタグラフを別途お買い求めの上、交換してください。
- KATO: 11-401 PS14:直流/パンタグラフ グリーンマックス: 80-2:PS13:直流/パンタグラフ
- KATO: 11-403 PS22:直流/下枠変形/パンタグラフ グリーンマックス: 80-3:PT42:直流/パンタグラフ
- KATO: 11-404, 11-420 PS16:直流/パンタグラフ グリーンマックス: 80-5:PT43:直流/パンタグラフ
- ※11-420は、屋根穴が4個の屋根に対応します。 クロスポイント: PT71C:シングルアーム/パンタグラフ

このほか、取り付けピンが縦2本方式の、各社パンタグラフを取り付けることができます。

- ※各種の交換パーツは、メーカー、形式によって取り付けが異なる(緩い)場合もありますので、それぞれ調整のうえ取り付けてください。また、パーツによっては加工が必要なものもあります。
- ※動力ユニットの装着には、車輪によっては車体側の一部(ガラス、スカートなど)や、動力ユニットの床板などを切り取る等の加工が必要な場合があります。

*取り付け部が固い場合があります。その場合にはドライバーの先などを利用して、しっかりと取り付けてください。

*取説に記載されている車両は、パリエーション内の一部です。前面パーツ、屋根パーツなどは、車種・塗装によってセットされているパーツが異なります。また、生産の都合上余剰パーツが含まれている場合がありますので、予めご了承ください。

車体の組立て

- ①左右のガラスの前後にブロックを取り付けます。
*ブロックの上下の向きに注意して、パチンと奥まではめ込んでください。
- ②屋根を取り付けます。
- ③左右の側面を取り付けます。
- ④シャーシのつめに合わせて車体をかぶせます。
- ⑤前面を取り付けて完成です。
(スカート付きの車両は、先にスクートを前面に取り付けます。)
- ⑥カブラーを最後にブロックのピンに取り付けます。

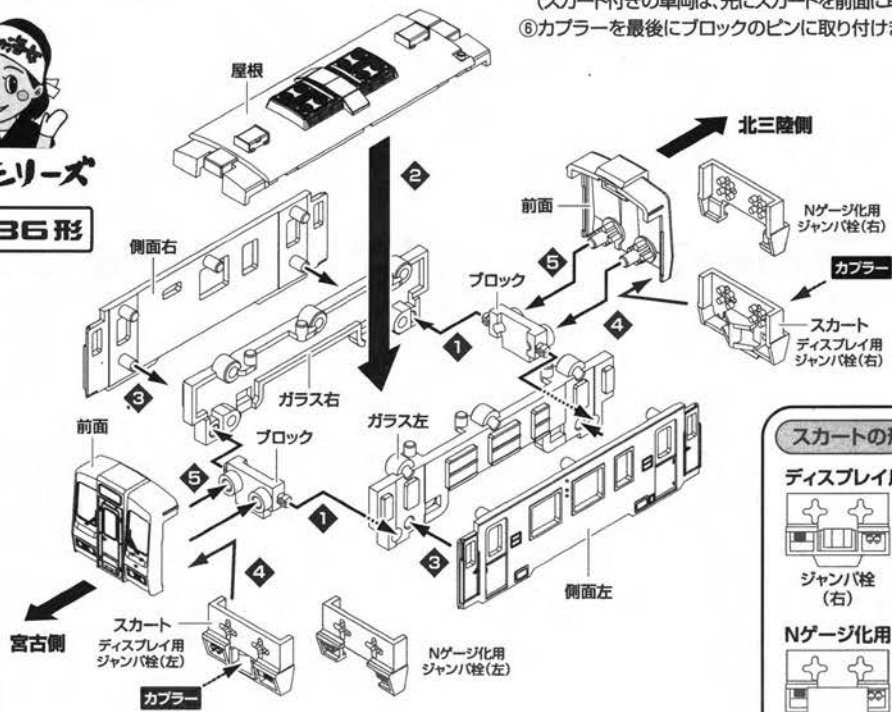


潮騒のメモリーズ

北三陸鉄道36形

北三陸鉄道路線図

- 北三陸
- 袖が浜
- 磯野
- 陸中白浜
- 畑野
- 御崎
- 新浜
- 陸中三島
- 船泊
- 宮古



スクートの形状について

ディスプレイ用(ピンあり)

ジャンパ栓(右) ジャンパ栓(左)

Nゲージ化用(ピンなし)

ジャンパ栓(右) ジャンパ栓(左)

ステッカーの貼付け位置

*貼り付け位置の参考例です。台紙からお好きなものを選んで、切り抜いて貼ってください。商品の仕様により、画像と一部形状が多少異なる場合がございますのでご了承ください。(刃物のお取り扱いには、充分にご注意ください。記載の無いものはお好みの位置にお貼りください。)

*反対側も同様にステッカーを貼ります。

行先方向幕	主な登場シーン
北三陸	<ul style="list-style-type: none"> ●オープニング ●アキ 北三陸へ (2008年夏、2010年元旦) ●袖が浜でヒビキがユイを撮影
畑野	●北三陸駅〜畑野駅間 運転再開
宮古	<ul style="list-style-type: none"> ●青子 東京へ (1984年7月 北鉄開通) ●安部ちゃん 栃木へ ●ユイ 東京へ(震災時)
臨時	<ul style="list-style-type: none"> ●アキ 再び東京へ(GMT加入) ●アキ 北三陸へ(震災後) ●復興支援列車
団体	<ul style="list-style-type: none"> ●お座敷車両運転 ●北鉄開通25周年イベント ●潮騒のメモリーズ号
試運転	●大吉 安部ちゃんへプロポーズ

ヘッドマーク

標準色

1984年7月 開通式

2012年7月 北三陸〜畑野間 運転再開

ヘッドマーク

2009年夏 アキ上京時

2011年3月 ユイ上京時

2011年3月 復興支援列車

お座敷車両

ヘッドマーク

2009年3月 北鉄25周年

2012年7月 潮騒のメモリーズ号

山側側面

震災復興列車(側面) 復興支援列車

山側側面

側面イラスト(山側)

2012年7月 北三陸〜畑野間運転再開

海側側面

震災復興列車(側面) 復興支援列車

海側側面

側面イラスト(海側)

2012年7月 北三陸〜畑野間運転再開

*標準色が1両で運行されていた際には36-207形が使用されました。2両編成で運行されていた際には36-208形も使用されていました。

車体番号 標準色

36-101	36-101	36-101	36-102	36-102	36-102
36-103	36-103	36-103	36-104	36-104	36-104
36-105	36-105	36-105	36-106	36-106	36-106
36-107	36-107	36-107	36-108	36-108	36-108
36-109	36-109	36-109	36-110	36-110	36-110
36-201	36-201	36-201	36-202	36-202	36-202
36-203	36-203	36-203	36-204	36-204	36-204
36-205	36-205	36-205	36-206	36-206	36-206

キット、ずつと号
(36-101)

36-101 36-101 36-101

キット、ずつと2号
(36-105)

36-105 36-105 36-105

青塗装
(36-1100形)

赤塗装
(36-1200形)

お座敷車両
(36-2100形)

行先方向幕

試運転	試運転	試運転	試運転	試運転
国産	国産	国産	国産	国産
臨時	臨時	臨時	臨時	臨時
団体	団体	団体	団体	団体
久慈	久慈	久慈	久慈	久慈
宮古	宮古	宮古	宮古	宮古
替代	替代	替代	替代	替代
小本	小本	小本	小本	小本
釜石	釜石	釜石	釜石	釜石
盛	盛	盛	盛	盛
仙台	仙台	仙台	仙台	仙台
小牛田	小牛田	小牛田	小牛田	小牛田
八戸	八戸	八戸	八戸	八戸
田野畑	田野畑	田野畑	田野畑	田野畑

乗降客扉横サボ ※右端はお座敷車両用

ヘッドマーク 標準色
1984年7月 開始式



2008年度 アキ上車時



2011年3月 ユイ上車時



2011年3月 復興文楽列車



2012年7月 北三陸～旭野間運転再開



お座敷車両
2008年3月 北鉄25周年



2012年7月 旭野のメモリーズ号



行先方向幕

北三陸 北三陸 北三陸 北三陸 北三陸 旭野 旭野 旭野 旭野 旭野

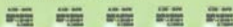
側面イラスト 2012年7月北三陸～旭野間運転再開 お座敷車両
山側 海側



震災復興列車 (側面)
2011年3月 復興文楽列車



2011年度 アキ再び北三陸へ



(側面)

